

電波時計 取扱説明書

(掛置兼用デジタル時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム時計工業株式会社**〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1707)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みのうえご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられないときは、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 BRZ〇〇〇

(フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

CITIZENはシチズン時計株式会社の登録商標です。

当社はCITIZENブランドライセンス商品の掛時計、置き時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

- ⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
- ①は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- ⚠ **必ず守る** 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

- ⚠ **禁止** 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

- ⚠ **禁止** 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- ⚠ **必ず守る** 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

- ⚠ **禁止** 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

- ⚠ **禁止** 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
故障や誤作動の原因になります。

- ⚠ **禁止** ぬれた手でさわらない
故障や誤作動の原因になります。

- ⚠ **分解禁止** 分解や改造をしない
故障や破損の原因になります。

- ⚠ **必ず守る** 液晶表示部が破損した場合は、素手でさわらない
万一、液晶材料が手などに付着した場合は、通常の石鹸で洗い流してください。

- ⚠ **禁止** 下記のような場所では使わない
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 壁に掛けて使用した場合、静電気により製品や壁が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

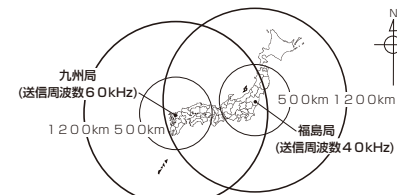
(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に変換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

電池の交換時期お知らせ機能



電池の交換が必要になると電池マークが表示されます。電池マークが表示されたときは、早めに新しい電池に交換してください。

注意

電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に変換する。

- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。使用するときは2個とも同じ種類の電池を使用してください。

電池・製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

用途について

- この製品は医療や業務用として開発したものではありません。
- 注意表示は、測定条件によって大きく変化します。あくまでも目安としてお使いください。
- 本製品は、温度、湿度の証明など商取引に使用することはできません。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10 ~ 50℃ (液晶表示可読温度範囲0~40℃) *結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒 (常温中のクォーツ精度)
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2個
電池寿命	約1年
電池交換時期	1時間に1回確認
お知らせ機能	標準電波 標準電波を受信して日付・時刻を修正 受信局 福島局/九州局自動選択 受信回数 1日8回 受信開始時刻 1時~4時、13時~16時 各時間帯の16分40秒に開始 受信 ON/OFF ボタン操作にて切替可能

カレンダー 2012 ~ 2099年対応

温度湿度表示

測定間隔	約1分間隔
温度表示範囲	-9.9 ~ 50℃
湿度表示範囲	20 ~ 95%RH 温度が5~50℃のとき *相対湿度表示
湿度精度	±3%RH 温度25℃ 湿度60%RHのとき

防塵防滴機能なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

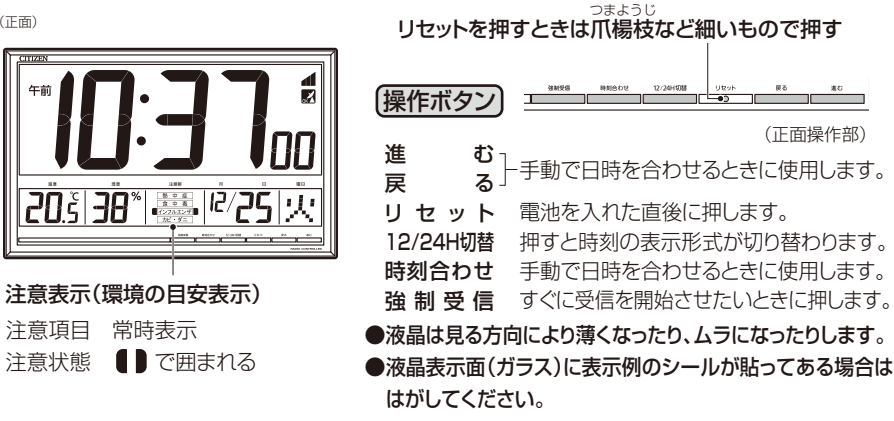
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

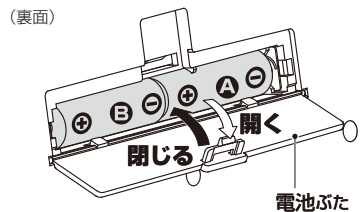
お試用電池 2個、木ねじ 1個、取付金具 1個、くぎ 4本
保証書 1枚、取扱説明書 本書

ご使用方法(電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる)

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



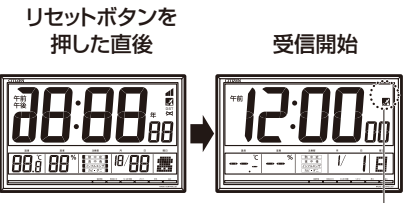
注意表示(環境の目安表示)
注意項目 常時表示
注意状態 で囲まれる



電池の入れかた

- 電池ふたを開ける。
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形マンガン乾電池を2個入れる。
Aの電池はBの位置に入れてから横に移動させる。
- 電池ふたを閉じる。

【受信の流れと表示】



電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2012年 1 月 1 日午前12:00に設定されます。温度、湿度は6秒程度遅れて表示されます。
受信マークの変化(電波サーチ機能)
電波の状態により変化します。

受信できない → 受信しやすい



受信成功
受信マークが点灯

受信失敗
受信マークが点滅

標準電波を受信できない場合へ

- 受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
- 受信に成功しても、電氣的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

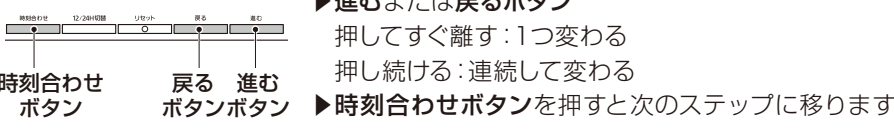
- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で日時を合わせて一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

ボタン操作により、手動で日時を合わせることができます。
このときの時間精度は、平均月差 ±30秒のクォーツ精度になります。

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。



- 電波受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。**電波受信機能のON/OFF操作** 参照
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。

操作例. 2018年12月25日 午前10:37に合わせる

- 設定を開始する
西暦年が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける。
進むまたは戻るボタンを押して「10」時に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
12時間表示の時は、「午前」「午後」の表示に注意。
 - 西暦年
進むまたは戻るボタンで「2018」年に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
 - 月
進むまたは戻るボタンで「12」月に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
 - 日
進むまたは戻るボタンで「25」日に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
 - 時
進むまたは戻るボタンで「10」時に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
 - 分
進むまたは戻るボタンで「37」分に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 以上で設定が終わりました。
※秒は⑤⑥で進むまたは戻るボタンを押すたびに「00」秒に設定されます。

電波受信機能のON/OFF操作

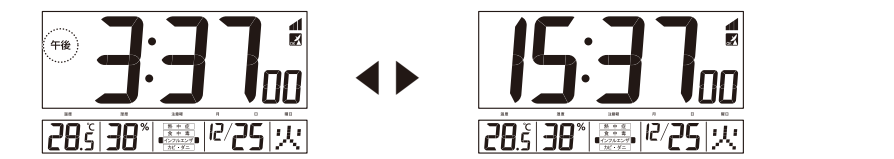
電池が無い状態では、受信機能はONになります。
※OFF状態のときに電池を取り外しても回路内の残留電荷のためすぐにはONにはなりません。数分間放置してから電池を入れてください。

- 受信機能 OFF (無効にして手動で日時を合わせる)
リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。
○OFFになるとリセットまたは強制受信ボタンを押しても受信マークを表示しません。
○日時は手動で合わせてください。

- 受信機能 ON (有効にして受信を開始する)
戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと受信マークが点滅して受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。定期的に標準電波を受信して日時を自動修正します。
※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

時刻表示形式の切り替え

12/24H ボタンを押すと切り替わります。
午前 / 午後付き12時間表示 24時間表示 0:00 00 ~ 23:59 59



※表示の切り替えは、受信中、日時の設定しているときは操作できません。

温度、湿度表示について

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の温度と湿度を反映しにくくなります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

- 温度「HH.H」50℃より高温 「LL.L」-9.9℃より低温
 - 湿度「HH」95%を超えている 「LL」20%未満 「--」測定不能(温度が5～50℃の範囲外)
- ※湿度は相対湿度です。単位は%RHですが、天気予報など一般には%が使われています。

注意表示 (環境の目安表示)

熱中症	4つの項目について注意(環境の目安)を表示します。項目は常に表示されています。
食中毒	
インフルエンザ	温度、湿度の状態により、注意対象項目がで囲まれます。
カビ・ダニ	左図では「インフルエンザ」が対象になっています。

※表示により発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。

※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

- 熱中症
高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流(風)、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。
- 食中毒
梅雨など高温多湿となると菌が増殖しやすくなります。細菌による食中毒を予防する三大原則といわれているのは、
1. 菌を付けない(清潔にする)
2. 菌を増やさない(迅速に冷却、乾燥する)
3. 菌を加熱などで殺す
対策が必要になります。

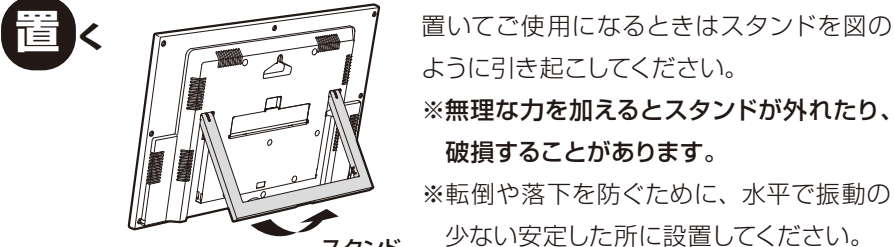
- インフルエンザ
湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の働きを弱め、ウイルスによる感染が起こり易くなります。室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。

- カビ・ダニ
一般にカビ・ダニ等は、室温20～30℃、湿度70%前後が最もその生育に適した温湿度条件だといわれています。増殖を抑えるために、風通しをよくして、湿気がこもらないようにする必要があります。

設置

注意 一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。粉じんが多い所、水がかかる所、結露する所では使用しないでください。故障や誤作動の原因になります。

- 屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- 空気がよく循環する場所に設置してください。
- ※設置する高さによっても温度、湿度が変わります。一般的な室内の低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。
- ※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しの良い所と悪い所では違いがでます。



掛ける **注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかりと掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかりと掛かるものを選んでください。
- スタンドを閉じてください。

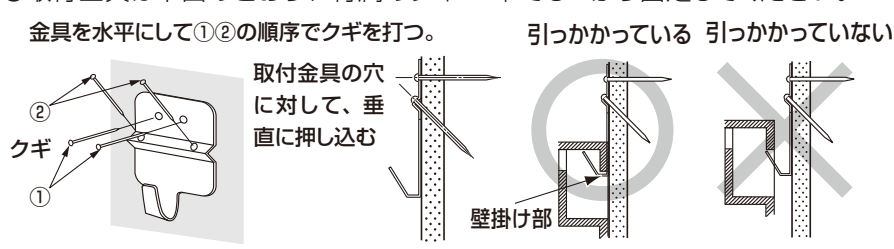
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図のとおり、付属のクギ4本でしっかりと固定してください。

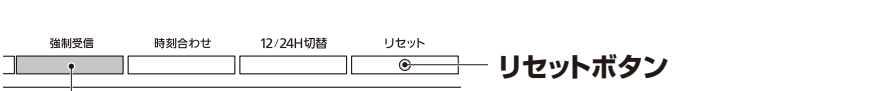


- 壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

- 上記以外の壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

強制受信とリセット操作



リセットボタン
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

リセット直後は、2012年1月1日午前12:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。

- 強制受信ボタン
場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。
次のようなときは受信を開始しません。
 - 手動で日時を設定しているとき
 - 受信機能がOFFになっているとき